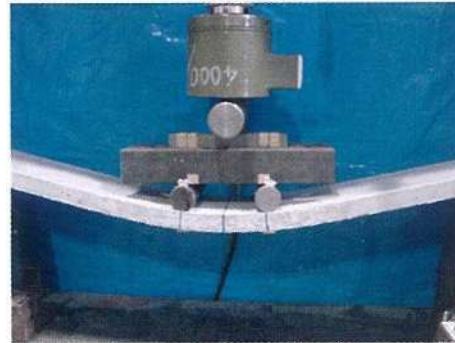


コンクリート水路の長寿命化対策工

< 韌性モルタルライニング工法の特徴 >

韌性モルタルライニングで使用する材料は、高韌性繊維補強セメント複合材 (DFRCC) を用いた、表面被覆工法です。従来のポリマーセメントに比べ、ひび割れ抵抗性が一段と優れ、極めて耐久性が高い画期的な材料です。

「複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材」
土木学会 設計施工指針



曲げ韌性測定試験

韌性モルタルライニング表面被覆工法



下地処理完了 (WJ工法)



開水路



導水路トンネル

●優れたひび割れ抵抗性

従来のポリマーセメントモルタルに比べ、特殊繊維の混入によりコンクリート表面被覆した場合、ひび割れ抵抗性が極めて高い。

●付着性

表面処理工法として、ウォータージェットを使用する事により、プライマーなしでも十分な付着性能を有しています。

●耐摩耗性・耐久性

特殊ポリマーセメントと多量繊維混入の架橋効果により、30年以上の高い耐久性を有している。

●施工性

雨、雪の多い冬期のコンクリート湿潤面でも施工可能である。

コンクリート水路の補修工法

現況：目地不良・劣化



下地処理完了 (WJ工法)



開水路 韌性モルタル完了

長寿命化対策工

＜目地・亀裂＞
StoSeal工法

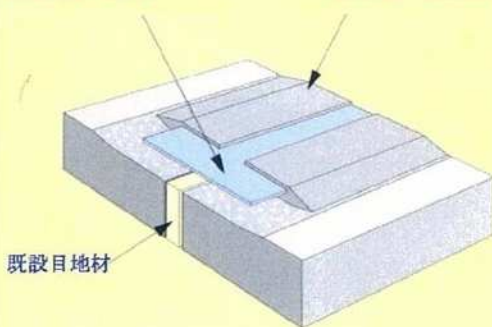


目地補修完了

＜区間補修(改築)＞
韌性モルタルライニング工法



StoSeal D100 StoPox KS100



目地フレキシブル素材



コンクリート表面劣化状況